

小牧駅前広場等整備基本構想 概要版

1. 基本構想の目的

これまで小牧市では、中心市街地である小牧駅周辺の整備について、平成20年3月に策定された「小牧駅周辺整備計画」をたたき台としながら整備の検討を進めてきました。

しかしながら、「小牧駅周辺整備計画」の策定から9年が経過し、平成27年8月に愛知県から新交通システム桃花台線の全線撤去の方針が示され、平成29年6月には、A街区南側の市有地に新小牧市立図書館を建設する方針や再開発ビル「ラピオ」の再構築として（仮称）こども未来館を整備する方針が決定されるなど、小牧駅周辺を取り巻く環境は大きく変化しています。

このため、小牧駅周辺整備について、これらの環境変化を踏まえつつ、整備検討を行う範囲や整備に関する基本的な考え方などを整理し、小牧駅前広場等整備基本構想を策定します。

2. 整備の基本方針

第6次小牧市総合計画新基本計画や小牧市都市計画マスタープラン、小牧市立地適正化計画における小牧駅周辺の位置づけ、現状と課題などを踏まえながら総合的な検討を行った結果、小牧駅前広場等整備基本構想は、5つの基本方針をもとに策定します。

基本方針 1 公共交通の利便性向上のため交通結節点機能を強化

- 鉄道・バス・タクシーの公共交通機関相互の乗換えを円滑にするなど公共交通の利便性向上を図り、初めて本市を訪れる人や高齢者など誰もが利用しやすい駅となるよう交通結節点機能を強化します。

基本方針 2 「緑豊かでやすらぎのある空間」の創出

- 環境や景観に配慮しながら駅前広場や駅東公園などの緑化を推進し、人々が憩うことができる居心地の良いやすらぎのある空間を創出します。

基本方針 3 駅前の好立地を活かした「新たなにぎわい空間」の創出

- 中心市街地における「新たなにぎわい」を創出するため、駅前に人々が“集い・滞在し・交流できる空間”を創出し、「小牧の顔」にふさわしい魅力あるまちづくりを目指します。

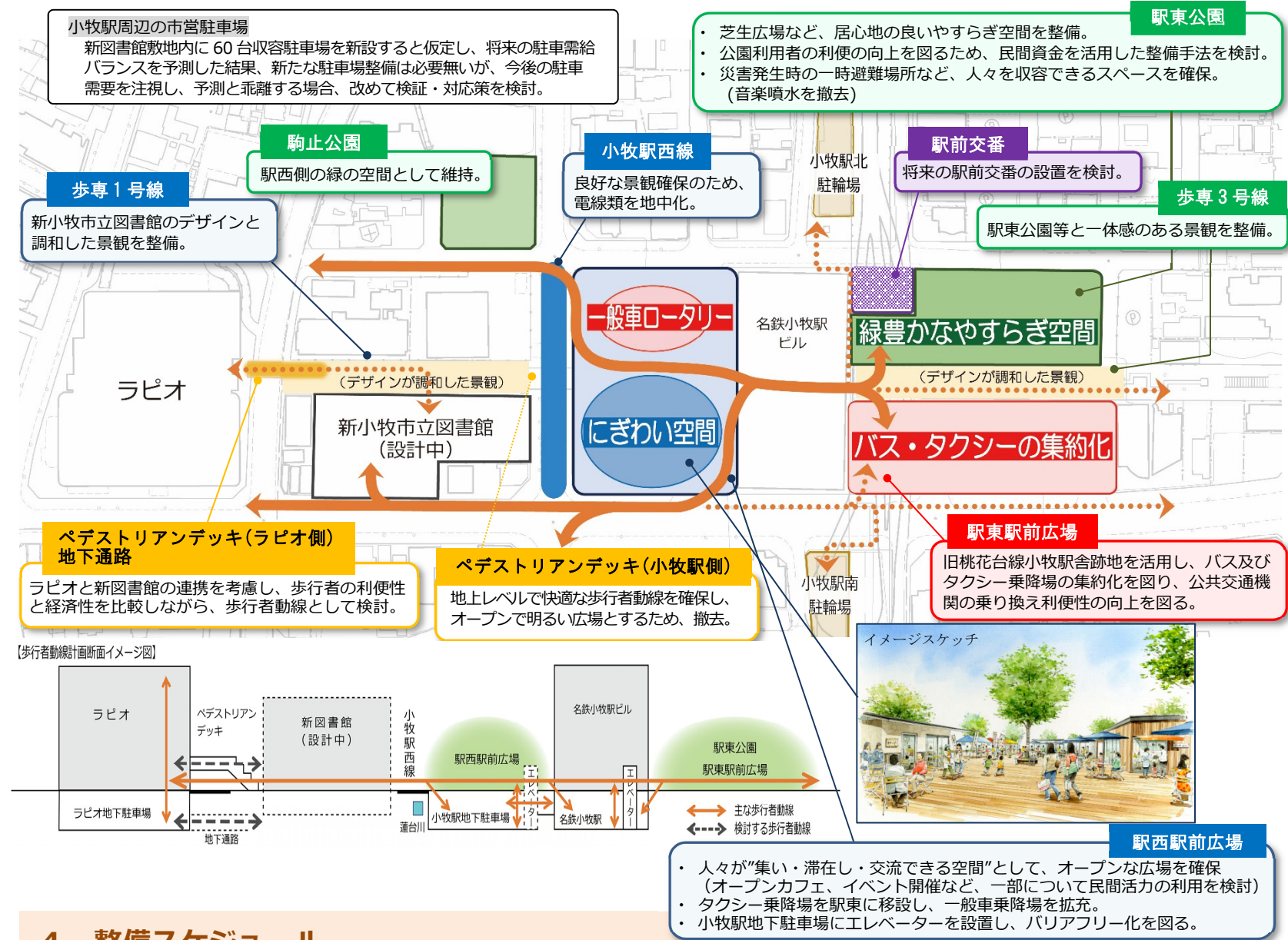
基本方針 4 駅周辺施設をつなぐ「快適な歩行者空間」の整備

- 交通結節点となる小牧駅からA街区に建設予定の新小牧市立図書館、ラピオなどの施設をつなぐ快適な歩行者空間を整備します。

基本方針 5 安全・安心な駅前環境の整備

- 小牧駅の周辺施設を安全・安心して利用することができる環境の整備を目指します。災害時に帰宅困難者の一時避難場所などを確保します。

3. 整備イメージ図



4. 整備スケジュール

駅前広場等の整備は、新図書館の建設工事や愛知県が実施する桃花台線インフラ撤去工事の施工時期を考慮しながら行う必要があります。

そのため、駅利用者の安全性・利便性に十分配慮しつつ、段階的な整備を行うこととし、駅の西側を新図書館の供用開始までに、駅の東側を桃花台線インフラ撤去後に整備することを目標とします。

	平成30年度 (2018年度)	~step1~	平成33年度 (2021年度)	~step2~
駅西側				
駅西駅前広場	実施設計	本工事		
歩行者動線 (歩専1号線、ペDESTリアンデッキ、 小牧駅地下駐車場)	予備設計	実施設計	本工事	
小牧駅西線	実施設計	本工事		
新小牧市立図書館の建設	実施設計	本工事		
駅東側				
駅東駅前広場、駅東公園、 歩専3号線	基本設計		実施設計	本工事
桃花台線インフラ撤去 (小牧駅舎周辺)		実施設計・本工事		